



羅針盤

12月



第129号
月刊



公益財団法人 武蔵野市福祉公社

当法人は、武蔵野市が全国に先駆けて昭和55年に設立した機関です。誌名「羅針盤」は、ご利用者を包括的に支援し、その人生と共に歩む基本姿勢を示したものです。



法人ウェブサイト



私たちの歴史
(法人年表)

商店会と共に地域を盛り上げる



10月28日、4年ぶりの大型イベントとして高齢者総合センター秋まつりを開催しました。初めての試みとしてフードドライブの実施、成年後見相談コーナーや介護職へ贈るメッセージカードを記入するコーナーなど13の出店ブースに8枚のパネル展示を行い、当日はグリーンパーク商店会及び緑町一番街が主催する「軒下フェスタ」と同日開催して、地域を盛り上げることができました。晴天に恵まれ、気温も上がって暑くなる中、遊びに夢中になる子どもや、食べ物を片手に各ブースを楽しむ親子など延べ1,170人が来場されました。

この高齢者総合センター秋まつりは、地域の活性化と地域福祉の推進のきっかけづくりを目的として、近隣商店会の連携のもと協力団体と共に開催しています。感染症対策として多くの人を集めるイベントは自粛していましたが、それを乗り越えて、にぎわいを取り戻すことができました。

来年は高齢者総合センターの大規模改修を予定しています。そのため秋まつりは当面お休みですが、今回の開催を通じて生まれた参加団体同士のつながりを維持して、今後の地域活性につなげていきたいと思ひます。(島田)

社会活動センター



昔遊び松葉相撲

福祉公社の各出店ブース。参加型イベントも盛りだくさんで、多くの方に立ち寄っていただきました。「福祉公社って何？」への答えが効果的に伝わりました。



ポスター展示
折り紙コーナー



高齢者総合センター
外の様子



権利擁護センター
水風船



フードドライブへのご協力ありがとうございました

生活自立支援センター

生活自立支援センターでは、生活困窮者自立支援事業の一環として食糧支援を行っています。市民や関係機関への事業周知を目的として、フードドライブを開催し、36名の方から67.8kgの食料品等のご寄付をいただきました。集まった食材は、市内5か所の子ども・コミュニティ食堂に寄付し、これまで連携する機会がなかった機関とも交流することができました。(米良)



生活支援員養成講習実施しました！！

権利擁護センター

10月6日、13日、20日、27日の4日間で、「令和5年度 地域福祉権利擁護事業生活支援員養成講習」を実施しました。

本事業は、認知症の方や知的障害、精神障害により判断能力が不十分な方が、地域で安心して生活できるように、福祉サービスの利用援助や書類整理、日常的な金銭管理等のお手伝いをします。生活支援員は定期的にご利用者宅を訪問し、相談や生活費のお届けを通して、ご利用者のちょっとした変化やニーズに気づき、関係機関に繋ぐなど、ご利用者本人の地域生活には欠かせない役割を担っています。

今年度の受講生3名の方が熱心に講習を受講される姿に、私たちも刺激を受けました。新たな生活支援員の皆さんとともに、ご利用者が地域の中で自分らしい生活が送れるよう、より一層支援に取り組んでまいります。今回、講師をお引き受けいただいた皆さん、ありがとうございました。（定作）



初めての身体介護・入浴介助編

ホームヘルプセンター 武蔵野

ホームヘルプセンターでは、常勤ヘルパーによる身体介護研修を月1回のペースで実施しています。10月、11月の研修は、入浴介助編でした。この研修は、ご利用者側と介助する側両方の立場になって体験してみることを重視した内容になっており、今回初めて他部署(高齢者総合センターデイサービスセンター)の職員を迎え実施しました。

浴室における介助には転倒などのリスクが多く潜んでおり、安全に入浴するためにはどのような点に気を付ければ良いのか、皆さんに感じてもらえる機会となりました。今後も身体介護のスキルアップを目指した研修を企画していきたいと思えます。（兵）



第二回 情報セキュリティ研修 を開催しました！

研修委員会

11月22日にITコンサルタント吉見氏による情報セキュリティ研修を全職員対象で開催しました。普段からスマートフォンやパソコンを使っていますが、セキュリティに関する知識がないと危険であることを毎回、実感させられます。今回は企業編、個人編とそれぞれの情報セキュリティ10大脅威についての講義でした。セキュリティは常に進化しているため、知識のアップデートは必須です。福祉会社では個人情報を扱う仕事が多いので、職員一同学んだことをしっかりと活かして、安全に対応していきたいと思えます。（石田）



『花の鳥』天翔ける

高齢者総合センターデイサービスセンター

一週間にわたり「緑町アートフェスティバル」を開催しました。以前は「作品展」として一年間作り貯めた美術、書道、手芸、陶芸、絵手紙作品を展示していましたが、「アートフェスティバル」では芸能発表と共同制作が加わります。

今年の共同制作は、ご利用者によって『花の鳥』と名付けられました。現役美大生ボランティアの弦巻さんが下絵を描いてくれました。たおやかな弦巻さんの溢れる情熱を感じ、ご利用者も職員も皆驚きの声を上げました。16倍に拡大した作品を一週間かけて全員で塗っていき、最終日につなが合わせると個性が輝きながら一つになった素晴らしい作品となりました。

皆さん、どうぞ見に来てください! (中村)



緑町UR住宅住民限定 シリーズ老いじたく講座 「どうする老後」ご報告

高齢者総合センター在宅介護・地域包括支援センター

7月から月1回「どうする老後」と題して、緑町UR住宅に居住する方々を対象に、老いじたく講座を開催してきました。10月の最終回には、地域団体にも参加いただき「楽しい老後を迎えるために私たちが協力して出来ること」と題して、意見交換を行いました。

地域団体の皆さんからは、担い手の高齢化や若い人の参入が少ないこと、受講者からは、コロナ禍で「近所付き合い」が減って、口コミの情報が入らないとのご意見がありました。その他にも、「お仕事やお手伝いがしたい」「UR敷地内に市民農園が欲しい」などの前向きなご意見も多く、年を重ねても



役割や仕事を持って生活することの大切さを改めて感じました。今回の講座を機に、参加者同士が顔の見える関係となり、互いに気に掛け合う「地域の仲間」となることを期待しています。

「楽しい老後を迎えるために」行ってきた全4回の講座で、私たち職員も受講者の皆さんから「前向きなエネルギー」をいただきました。今後はこの取り組みを緑町だけでなく、他地区でも実施して行く予定です。(宮地)

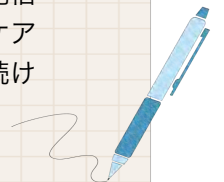
ケアマネ
仕事発信

「老い」と向き合うこと

ケアプランセンター

訪問の際に、ご利用者から「生きるのが大変」とよく聞きます。歳を重ねると、今までできたことができなくなるのはとても寂しいものですが、致し方ないことです。しかし、人生の先輩方は経験や知恵、知識が豊富で、武蔵野市が昔は神奈川県だったことや、うど栽培発祥の地が吉祥寺で神田の市場までリヤカーで運んでいた話、小屋（こびると読む、おやつ

の事)は心の休息时间、と教わり、お金の代えがたい刺激や体験をしています。ご利用者、専門職、仕事の仲間など様々な方々の人生に触れながら、自分や自分の親の老いに向き合うこと、老いる覚悟を人よりも少し持つことができた、ケアマネジャーの仕事大切にしながら続けていきたいと思います。(田淵)



幼馴染のみどりちゃん

高齢者総合センターデイサービスセンター
中村 美和

故郷の高知にいる幼馴染のみどりちゃんは、49歳にして土佐和紙職人となりました。理数系でものづくりに一切興味を示さなかった彼女が熱く語ります。「竜馬が書いた手紙も、信長の天下布武も、頼朝の書状も、和紙のおかげで残ったの。日本の歴史がわかるがよ」。ふむふむなるほど。

この夏、東京で「ものづくり匠の技の祭典」に出展すると言うので手伝いに行きました。ワークショップの姿が格好良くてその情熱に圧倒されました。私はと言うと、デイサービスで培った“個別対応力”で子どもからお年寄りまで楽しめる場づくりに精を出しました。

「いつかあんたを副社長にしちやるさんねえ！」とビール片手にほくそ笑んでいるみどりちゃんがいました。



和紙を漉く（すく）様子

今回は→ ホームヘルプセンター武蔵野 三木 明美

権利擁護センターより

講座・相談 / 予約制

講座



● 老いじたくの基礎知識

12月22日（金）13時30分から15時00分
場所：市民会館第2学習室

● 成年後見制度について

1月12日（金）13時30分から15時00分
場所：福祉公社1階会議室

相談



◆ 法律相談 / 成年後見関連

毎月第2火曜日 / 次回：1月9日 午後

◆ 高齢者及び権利擁護に係る法律相談

毎月第4水曜日 / 次回：12月20日 午後

(問合せ・申込み) 権利擁護センター TEL 0422-27-5070



年末営業のお知らせ

12月28日(木)まで営業

12月29日(金)～新年1月3日(水)まで休み

- 本部（生活自立支援センター含む）
- 高齢者総合センター
社会活動センター
在宅介護・地域包括支援センター
住宅改修・福祉用具相談支援センター
- 北町高齢者センターコミュニティケアサロン

12月29日(金)まで営業

12月30日(土)～新年1月3日(水)まで休み

- 高齢者総合センター デイサービスセンター

ご案内



営業時間 8時30分から17時15分（すべて共通）



法人ウェブサイト
<https://www.fukushikosha.jp>
採用情報についてもこちらをご覧ください

本部事務所

武蔵野市吉祥寺北町1-9-1

部署名

TEL

総務課	0422-23-1165(代表)
権利擁護センター	0422-27-5070
成年後見利用支援センター	0422-27-1238
生活自立支援センター（三鷹サテライト）	0422-66-2801
ケアプランセンター	0422-27-5076
ホームヘルプセンター武蔵野	0422-23-2611
地域包括ケア人材育成センター	0422-20-3741

武蔵野市立北町高齢者センター

武蔵野市吉祥寺北町4-1-16

コミュニティケアサロン	0422-54-5300
子育てひろば・みずきっこ	0422-38-5150

武蔵野市立高齢者総合センター

武蔵野市緑町2-4-1

管理・社会活動センター	0422-51-1975
在宅介護・地域包括支援センター	0422-51-1974
住宅改修・福祉用具相談支援センター	0422-51-1974
デイサービスセンター	0422-51-2933

広報委員会

編集後記

今年も残すところあとわずか。新年の目標はもう決まりましたか？来年、福祉公社は高齢者総合センターの大規模改修工事、そしていよいよ北町本部事務所の建て替え工事が始まり、激動の年を迎えます。仮事務所への移転等ご不便をおかけしますが、地域の皆さんにも親しんでもらえる素敵な施設を計画中です。ご期待ください！（鈴木 康）